

2017年度商社リーグ 第5回代表者会議 議事録

日時	3月27日(火)19:30-22:00
会場	丸紅本社 東京日本橋タワー23階2318会議室
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	蝶理/法貴

議題	内容
----	----

目次	※以下敬称略 1 2018年度の予定 2 表彰式日程 3 日立ハイテク脱退について 4 2018年度の運営要綱の変更について 5 チャンピオンズカップでの三井物産の事件 6 各幹事から報告 7 伊藤忠丸紅鉄鋼の新加入	<出席者名簿> 役員会 金田会長、内田、西村、桜井 三菱商事 須田、塩見 三井物産 辻村、山本 伊藤忠商事 高柳、室谷 住友商事 北村 岩谷産業 村田 兼松 松原、山本 双日 アンドリアン、赤司 蝶理 松本、法貴 豊田通商 荻野 日鉄住金物産 多田 日本ユニシス 吉越、田中 阪和興業 石野、小西 日立ハイテク 北村、関 伊藤忠丸紅鉄鋼 樋口、普勝、満井
-----------	---	---

総括	1 対応事項	内容	期日/担当
	① 2018年度会議室について ② 表彰式について ③ ④ ⑤	2018年度の会議室を4月中に役員会へ報告。 開催日時を各社内で周知する事。	伊藤忠商事 全社
	2 決定事項	内容	期日/担当
	① 表彰式フットサル ② 幹事引き継ぎ会議 ③ 代表者引き継ぎ会議 ④ 合宿日程 ⑤	6月2日(土) 10:00~17:00 フットサル後表彰式 6月18日(月) 19:30~21:30 場所 伊藤忠本社 7月2日(月)19:30~21:30 場所 伊藤忠本社 8月25、26日開催 場所 リソル生命の森	兼松
	3 情報共有及び注意喚起事項 (役員会等からの連絡)	内容	期日/担当
	① 日立ハイテクの脱退 ② 三井物産にチーム警告 ③ 伊藤忠丸紅鉄鋼の加入 ④ ⑤	今年度で日立ハイテクが脱退。 不戦敗の処分としてチーム警告、罰金3万円。 2018年度から伊藤忠丸紅鉄鋼が加入。	
	4 意見交換及び審議事項 (会議での議論事項)	内容	期日/担当
	① 2部制から3部制への変更について ② 社外選手の出場制限 ③ ④ ⑤	2019年度から3部制へリーグ形式を変更。 2018年度は社外出場選手を5名までに制限。	役員会 役員会
	5 講義及びその他	内容	期日/担当
	① ② ③ ④ ⑤		

2017年度商社リーグ 第5回代表者会議 議事録

日時	3月27日(火)19:30-22:00
会場	丸紅本社 東京日本橋タワー23階2318会議室
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	蝶理/法貴

議事録

- 内容**
- 1 **2018年度の予定(丸紅/北川)**

6月2日(土) 2017年度商社リーグ表彰式兼フットサル大会
 6月18日(月) 2018年度商社リーグ幹事引継ぎ会議 19:30-21:30 場所 伊藤忠本社*
 7月2日(月) 2018年度商社リーグ代表者引継ぎ会議 19:30-21:30 場所 伊藤忠本社*
 *伊藤忠は会社都合で8時以降自社会議室使用不可の可能性があり、4月中に代替案含め会議場所を決定の上、連絡する。
 8月25-26日 商社リーグ合宿 場所 リソル生命の森

商社リーグでは1回約2.5時間、計6回/年の会議をなぜ行っているのか。
 →メールだけの情報伝達では、質の高いパフォーマンス維持は難しく、諸問題の共有及び解決、並びに更なるイノベーションを図るには、対面での会議は必ず必要と認識。(対面コミュニケーションは心理学的に文字の何倍もの効果がある。)
 経営学的にイノベーションの無い組織は継続しない。人間は生物学的に変化を嫌う生き物であるが、商社リーグを成長させる為にはイノベーションは不可欠である。この点を各会社が常に意識し、2018年度の商社リーグを運営して欲しい。(役員会/金田)
 - 2 **表彰式兼フットサル大会の経過報告(兼松/山本)**

日時 6月2日(土) 10:00~17:00 (フットサル後表彰式)
 フットサル会場 豊洲のMIFA Football Park コート3面 料金 1時間 16,200円 OBフットサル大会も予定。
 表彰式会場 同会場内のカフェテリアを予定
 料金 1人3,500円(1人 3,000円に交渉中)
 各チームは事前にチーム内で日程情報を共有し、参加の呼びかけを行う事。(役員会)
 - 3 **日立ハイテク脱退について(日立ハイテク/北村)**

他社とのサッカーの実力差に因り、チーム内で商社リーグへのモチベーション、参加意欲が低下傾向にあった。
 チーム内で話し合った結果、現チーム体制では商社リーグへのコミット出来ないと判断し、脱退を決断した。
 部として存続はしていく方針であり、今後は港区のフットサルリーグに参加し、後々11人制のリーグに復帰したいと考えている。
 再びサッカーをしたい気持ちがあれば成長できる。戦力を整え再挑戦して欲しい。(役員会/金田)
 - 4 **2018年度運営要綱の変更について(丸紅/北川)**

①2019年度より2部から3部リーグへの移行
 2019年度からリーグ構成を2部制から3部制へ変更を検討中。背景としては、2部リーグ試合結果を確認する限り、大差の試合が散見されることや、消化試合となる試合が複数あることを踏まえ、3部制への移行がリーグ活性化に繋がると判断している為。
 ホーム&アウェイ方式で試合を行い、昇降戦と入れ替え戦に関しては各部の最下位は自動降格、各部の1位は自動昇格。
 各チーム6試合~8試合を行い、優勝チームはチャンピオンズリーグに参加可能。
 2019年度からの本制度を導入する為、2部リーグチームは2018年度の成績は重要となる(下位4チームが3部リーグへ降格を予定)。
 反対意見:2部リーグ内で実際にそこまで差はないように感じる(阪和/石野)
 賛成意見:3部制になると入れ替えが激しくなり、面白みがある。(岩谷/村田)
 1度やってみる価値があり、イノベーションに繋がる。100%ベストだとは思わないが、現状のデータによるとこの制度がベター。(役員会/金田)
 2部制維持派:6名 3部制賛成派:24名

②社外選手の出場制限(丸紅/北川)
 2018年度より1部2部共に、グループ外選手が同時にピッチ上立てる人数を最大5名までに限定する。
 また2019年からは1部については、グループ外選手のピッチ上の人数を最大3名にすることも検討中。
 反対意見:内部の人数上外部が参加してくれないと成り立たない(ユニシス/吉越)経験者が少なく面白みが失われる(阪和/石野)
 賛成意見:フェアであるべきであり、会社を背負った勝負がしたい。(伊藤忠/高柳)
 社外の選手が多く、社内の選手で構成されていないチームはプライドがない為、必ず問題が起きる。過去に経験あり。
 Passion,Pride,Punctual, Professionalism この4つのP、コアバリューが商社リーグの根幹であり、社外選手が増えるとコアの部分か風化され失われていく。制約がある状態で真剣に取り組めば必ず価値はある。(役員会/金田)
 役員会内でも検討中の議題であったが、商社リーグのコアバリューを考慮するとこの結論に至った。
 このルールを導入する事により、各チームは自社の看板を背負ってリーグに参加しているという意識付けを図りたい。(役員会/内田)
 - 5 **チャンピオンズカップでの三井物産の問題(丸紅/北川)**

①2/17の準決勝 対伊藤忠戦でリーグ登録外の選手が3名出場。
 出張者、体調不良者が多く、人数不足では対戦相手に迷惑がかかると思い外部者起用に至った。(三井物産/山本)
 ②2/24 対住商戦、人数不足で棄権、不戦敗。 チーム警告1枚、罰金3万円の処分。(警告2枚で除名処分)
 会社イベントと被ったが不可日申請を忘れており、結果参加者を集められず不戦敗となった。(三井物産/山本)
 運営体制が甘く、当事者意識が低い。根本的な部分を解決しリーグに貢献できるチーム作りを行う。(三井物産/山本)
 プライドのあるメンバーを軸にチームを運営して欲しい。おのずと優秀な選手が集まり、チームの能力も向上する。(役員会/金田)
 ①と②を合わせた三井物産への最終処分内容については現在役員会内で協議中。(役員会/北川)
 - 6 **2017年度各幹事(主幹事/副幹事)から報告**

試合結果集計 MC報告書のミスが多々見られた。細かなミスでも時間と労力を使うため、各社はチェックを徹底して欲しい。(双日/赤司)
 名簿TD表彰式 2018年度を機に写真を更新していないチームは更新するように。ユニフォームを新調する場合早期アクションを。(兼松/松原)
 ML議事 その時々での会議が議事録には顕著に反映される。問題が多ければ会議は長引き、前向きな議論の時間が減る。(蝶理/松本)
 主幹事補佐 2018年度主幹事に向けチーム内の運営を徹底する(伊藤忠/高柳) リーグ戦カップ戦共に1位の素晴らしい戦績。(役員会/金田)
 主幹事 リーグの裏側では常に役員会が動いている。各社この事を意識しリーグ運営をして欲しい。
 主幹事、副幹事にかかわらず参加者全員がリーグの関係者。リーグの伝統を守る為、自社のプライドを守る為行動して欲しい。(役員会/金田)
 - 7 **伊藤忠丸紅鉄鋼の新加入について(丸紅/北川)**

日立ハイテクが脱退表明する一方で、伊藤忠丸紅鉄鋼よりリーグ参加の申込みを頂いた。既に商社リーグに所属している企業のグループ企業が単独で商社リーグに参加する事は近年無かったが、役員会としては2018年度よりリーグ登録を承認する方針。(役員会/北川)
 サッカーに対する気持ちは強い。会議に初出席し運営の強固さ、問題意識の高さを感じた。
 今後リーグに貢献できるようチームの体制を整えていきたい。(伊藤忠丸紅鉄鋼/樋口)